

平成 25 年 7 月 4 日

藤原忠彦・全国町村会長就任挨拶

皆様からのご推挙により、3 期目の全国町村会長を務めさせていただくこととなりました。大変、身の引き締まる思いで一杯であります。

申し上げるまでもなく、町村を取り巻く環境は依然として厳しく、課題も山積しております。

今回の立候補にあたっての所信表明に述べさせていただきましたが、いまだに深刻な状況が続いている東日本大震災からの復興については、全国町村会としても最優先の課題と位置づけ、引き続き全国の町村が協力して支援に取り組んでゆかなくてはならないと存じます。

また、町村が当面する大きな課題である道州制につきましては、住民自治の衰退や更なる市町村合併につながるものであり、これまで同様反対の立場からその阻止に向けて断固運動を続けて参ります。さらに TPP につきましては、町村の基幹産業である農林漁業が持続的に発展していけるよう、国の対策を強く求めてゆく所存であります。

いずれにいたしましても、私は全国町村会長として、町村にとって何が必要で、望ましいのかを常に念頭に置き、「国と地方の協議の場」など、様々な場面において主張を続けて参りたいと存じます。

平成 22 年 4 月 21 日に会長に就任して以来、各都道府県の町村会長の皆様のお力添えをいただき、微力ながら職務を全うしてまいりました。今後におきましても、ご期待に応えられるよう、全身全霊を傾けて全国町村会長職の大任を果たしてゆく所存であります。引き続き、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、ご推挙いただいた御礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。